

……お詫び……

「小児外科」の下記 6 論文について、増江道哉先生（中部国際医療センター小児科）が独自に開発された診断法 “¹⁸F-fluoro-L-DOPA PET” を用いた検査画像を無断掲載していたことが判明いたしました。
東京医学社、「小児外科」編集委員、著者一同、増江道哉先生に多大なるご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

「¹⁸F-fluoro-L-DOPA PET による先天性高インスリン血症の局在診断」

平田義弘，他（神奈川県立こども医療センター外科） 小児外科 **42**（6）：622–626，2010

「限局性小病変に対する核出術—術中に病変の同定ができない場合の切除の工夫—」

北河徳彦，他（神奈川県立こども医療センター外科） 小児外科 **51**（6）：569–573，2019

「腓体尾部病変に対する術中診断と体尾部切除」

渡辺稔彦，他（国立成育医療研究センター外科） 小児外科 **51**（6）：574–578，2019

「腓頭部病変に対する腓頭部切除術—合併症を避けるための工夫—」

永田公二，他（九州大学小児外科） 小児外科 **51**（6）：579–585，2019

「腓頭部病変に対する腓頭部切除術—局所型先天性高インスリン血症における病変部完全切除のための工夫—」

矢本真也，他（静岡県立こども病院小児外科） 小児外科 **51**（6）：587–593，2019

「腓頭部病変に対する局所切除」

大畠雅之（高知大学病院小児外科） 小児外科 **51**（6）：594–597，2019